

新年のご挨拶

新新徳新聞

第59号 2013年1月

発行日：2012年12月31日(第1版第1刷)

目次

- 1~2面
新年のご挨拶
院長 笹壁 弘嗣
- 健康友の会 会長
柿崎 孝一
- 看護部長
大友 絹子
- 事務長
成田 政彦

今年の目標は「在宅医療」の充実です



院長
笹壁 弘嗣

新年あけましておめでとうござ
います。新庄に赴任して9回目の
冬を迎えました。

昨年は徳洲会の介護老人保健施設として、真室川町に「梅花苑」が開設されました。私たちのグループ以外にも含めると、地域の中に様々な介護施設が充実してきました。今後は、医療必要度によって受け入れ先が決められるようになりま
す。



り病棟での継続医療まで可能であり、退院後は訪問診察・訪問介護だけでなく、通所と訪問によるリハビリもあります。まさに在宅医療が最もうまく展開できる環境なのです。入院しないとできないと思っていることが、在宅でもできることがあります。当然その中には最期を看取る医療も含まれます。私の生涯のテーマである「死を支える医療」にも本気で取り組んでいきます。

今年もどうぞよろしく願います。

新年あけましておめでとうござ
います。
皆様に於かれましてはご清祥にて新年をお迎えなされたこととお喜びを申し上げます。



健康友の会 会長
柿崎 孝一

昨年は異常気象による各地での被害、地震による津波予測、尖閣諸島をめぐる国益争い、そして衆議院解散など様々な国内外の問題が山積した一年ではなかったでしょう。本年は、穏やかな年であります様、願うところであります。

さて、新庄徳洲会病院も開業以来十五年目を迎えました。従来医療と共、少子高齢化による最上地域の人々にとっては無く



はならない医療機関として、院長先生はじめ、職員の皆様日々努力を重ねているところであり、我々健康友の会も病院を下支えする団体(応援団)として、病院との連携を図り、会員の皆様並びに地域の皆様に喜んで頂ける会の運営に尚一層の努力を図らなければなりません。新たな年を迎え思うところであり、会員の皆様にも、今までの以上のご理解と、ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

医師・看護師を目指す方へ
徳洲会の奨学金制度を利用しませんか?

●対象
医学部入学予定または在学する学生、看護師等養成学校に入学予定または在学する学生で、卒業後に徳洲会グループ病院への入職を希望される方。

●貸付限度額
・医師 月額15万円
・看護師 月額5万円
(養成学校の修業年数)

●返済の免除
免許取得後、貸付期間と同期間グループ病院に就業した際は全額返済免除。
(給与は規定通り支給)

●応募受付期間
随時受付しております。

詳しくは当院総務課まで
お問合せください。



看護部長
大友 絹子

謹賀新年
明けましておめでとございます。皆様には良いお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、豪雪に震え上がった平成24年辰年も終わり平成25年の巳年を迎えました。巳はへみ(蛇)の略と言われて嫌われることの多い爬虫類ですが古来、神の使いとも言われ、縁起のいいものとして崇められ、また薬用にも用いられます。蛇の夢を見るとお金が入ってくるとか…。焼き蝮・まむし酒はパワーの素とか…。

新年巳年は何か良いことがあります。そうな、そんな気がしております。新庄徳洲会病院は、皆様の温かいご支援のお陰で開院から十四年経ちました。地域の皆様が健康で生きがいをもって暮らしていきますようにと祈りながら僅かながらのお手伝い

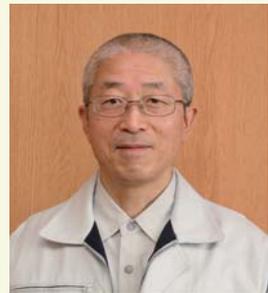


をさせて頂いて参りました。これからも出来る限りの力を出しながら共に生きがいのある暮らしをつくっていききたいと思っております。

新庄・最上の人々の冬を耐える根性は千年の昔から筋金入りです。明るい方向に向かっていることが多いと思います。手を携えて一緒に歩んで参りましょう。



病氣予防の秘訣



事務長
成田 政彦

新年明けましておめでとございます。

さて、さっそくですが皆様は病氣予防のためにどのようなことをされていらっしゃるでしょうか。

私は昨年からはじめたことが一つあります。

それは食事の時、40回噛んでから飲み込むようにしていることです。

これはある整形外科医師から教えられた方法です。

その先生は60歳をとうに越しているのに、今でも全国のマラソン大会に参加しているとのこと。

その筋肉質の体と健康を維持できている秘訣の一つが、この毎回40回噛んでから飲み込むという食事の仕方だとおっしゃっています。

実は「徳洲新聞」835号に紹介されていますが、「一生太らない体をつくる「噛むだけ」ダイエット」

という本を著された渡辺信幸先生も同じ事をおっしゃっていらっしやるようです。

医師が一人しかいない離島で、島民の健康を守る為に始めた病氣予防運動がこれだ、とのこと。

皆様も、できれば病院とは縁がないように暮らしていくために、ぜひお試し下さい。

なお、皮膚科、泌尿器科、腎臓内科の先生も増えましたので、病氣とは縁が切れない方は変わらずご来院ください。

